

2025年(令和7年)9月13日 土曜日

岡山臨港を子会社化

富士倉庫 物流機能強化へ

総合物流業の富士倉庫（岡山市北区大元駅前）は、同業の岡山臨港（同市南区海岸通）の全株式を取得し、完全子会社化した。両社の設備やノウハウを組み合わせて輸送や倉庫の能力を強化する。

クラレ（本社・東京、本

店・倉敷市酒津）、DOW Aエコシステム（東京）、大建工業（大阪）の3社が計100%保有していた岡山臨港の株式を、11日に完全取得した。取得額は非公表。同社の完全子会社で運送業の岡山臨港倉庫運輸（岡山市南区海岸通）も傘

下に収めた。

岡山臨港の黒木良樹社長は続投し、富士倉庫の安原博社長が会長に就任。代表権は2人が持つ。岡山臨港倉庫運輸も含めて64人の従業員の雇用は継続する。

富士倉庫によると、岡山臨港の株主側から譲渡の提案があった。取引基盤の強化につながり、単独では獲得できなかった大口受注も可能になると判断し

た。

岡山臨港は1951年、現在のJR大元駅から岡山港まで8・1キロを結ぶ「岡山臨港鉄道」として設立。84年に鉄道事業を廃止し、トラック輸送や倉庫、不動産などに転換した。資本金9800万円。売上高11億1500万円（2024年12月期）。

安原社長は「岡山臨港は鉄道を祖業とするブランド力や不動産を含めた収益の安定性も強み。自社との相乗効果を発揮していきたい」と話している。

富士倉庫は1959年設

立、資本金2千万円、売上高10億3千万円（2025年3月期）、従業員43人。今回の子会社化に伴い、倉庫面積は約8万8千平方メートルとなった。（伊東圭一）